

(答弁案)	主管課	教育振興部	教育政策課
教育長答弁	共管課		
宮島 修	公 明	代表	1

2 (1)

私からは、子どもの子育て支援に関する質問のうち、はじめに北区の教育の未来像について、お答えします。

少子高齢化やグローバル情勢の混迷、生成A I等デジタル技術の進展など、これからの子どもたちは、激しい変化が止まることのない時代を生きることになります。

今後は、労働市場の流動性が高まり、マルチステージの人生モデルへ転換し、自らの人生を舵取りする力を身につけることの重要性が高まります。

また、グローバル化・多様性社会の進展に伴い、多様な他者と対話し、問題を発見・解決できる「持続可能な社会の創り手」を育てていかなければなりません。

このためには、「生成A I」等のテクノロジーを含む、あらゆる資源を活用し、すべての子どもが多様で豊かな可能性を開花できるよう、取り組むことが大切です。

子どもたちの自ら未来を切り拓く力を育み、主体的に社会に貢献できる人材を育成するためには、学校のみな

(答弁案)	主管課	教育振興部	教育政策課
教育長答弁	共管課		
宮島 修		公 明	代表 1

らず社会総がかりで、子どもたち支えていくことが必要です。

そのため、私は、これまで北区が進めてきた「教育先進都市・北区」を「ネクスト・ステージ」に押し上げるため、心の教育や保護者サポート、教員支援、教育DXの4つの新機軸を掲げました。

私が、これまでの教員生活やマルチワークの中で培ってきたあらゆる知見やネットワークを活かし、次期学習指導要領の改訂も見据えながら、常に区長部局と連携しつつ、教育現場の教職員とともに、教育環境のさらなる充実や、課題の着実な解決を図ってまいります。

(答弁案)	主管課	教育振興部 教育指導課		
教育長答弁	共管課			
宮島 修		公 明	代表	1

2 (2)

次に、体験型学習の拡充についてです。

北区では、教育ビジョン2024において「体験活動・交流活動の充実」など、大学、企業等との連携による取組を推進することとしています。

子どもたちの成長段階に合わせ、総合的な学習の時間等をはじめとしてキャリア教育や進路指導を進めるとともに、中学校2年生で職場体験を行い、児童・生徒が将来必要となる資質・能力の育成に努めています。

また、アントレプレナーシップ教育についても、今年度から堀船中学校を研究指定校に指定し、実証研究を行い、区立中学校の生徒のキャリアに関する体験活動の充実につながるよう研究を進めています。

さらに、東京商工会議所北支部が主催する、東京証券取引所と連携した起業体験ワークショップなどにも参加し、社会経済や起業家精神を学んでいます。

引き続き、各学校が特色ある体験型経済教育を実施できるよう、ご紹介いただいた各種施設の情報を含め、校園長会を通じて、各種情報提供を行うなど、教育委員会としてもサポートをしてまいります。

(答弁案)	主管課	教育振興部 教育指導課		
教育長答弁	共管課			
宮島 修		公 明	代表	1

2 (3) アイ

次に、子どもの英語力のご質問のうち、はじめに、TOKYO GLOBAL GATEWAYの全校導入についてです。

北区では従前から、中学2年生を対象とした2泊3日のイングリッシュ・キャンプを教育課程に位置付け、外国人留学生との交流や、英語スピーチ発表会を実施しており、楽しみながら英語力を高めるための体験活動を行っています。

一方、小学生については、英語への興味・関心や知識・技能を高め、中学校での英語力の充実につなげるための機会として新たに取り組むこととしたものです。

TGGのモデル実施については、単発の活動とするものではなく、その後の英語教育との学びの連続性なども含め、校長会等とも成果や課題について分析をしたうえで、今後の小学校への展開について、検討をしてまいります。

次に、マンツーマンのオンライン英語授業の導入についてです。

(答弁案)	主管課	教育振興部 教育指導課		
教育長答弁	共管課			
宮島 修		公 明	代表	1

北区では、外国語教育アドバイザーの訪問指導・支援をはじめ、ALTを活用した、少人数による英語でのやり取りの充実を図った授業改善に努めてきました。

マンツーマンのオンライン英語授業については、生徒個々の英語力の育成に有効である一方、生徒同士の対話的で深い学びの協働的な学びに対する効果や、さまざまな教育課題がある中であって、優先順位の観点からも慎重に検証する必要があると考えています。

なお、北区においては、個別学習に活用できるよう、中学生全学年の生徒に対して、オンラインチケットの配布を行っています。